

平成23年度 理学療法学ユニット研究活動状況

A. 理学療法学ユニットの全体活動状況

1. 第一回共同研究推進委員会で確認された理学療法学ユニットの平成23年度構成メンバー

鈴木 俊明、谷埜予士次、米田 浩久、
高崎 恭輔、谷 万喜子、鬼形周恵子

2. 研究計画ならびに研究費の申請と執行の経過

今年度の研究テーマは、

- 1) 理学療法評価および治療法に関する神経生理学的・生体力学的研究
- 2) 理学療法と鍼灸医学の考えを組み合わせた新しい治療法の開発と、その効果に関する神経生理学的研究
- 3) 運動学習、運動イメージに関する神経生理学的研究
- 4) 神経疾患に対する鍼治療効果に関する基礎および臨床研究、
- 5) 効果的な理学療法教育に関する研究

である。各メンバーが専門領域での研究を実施することができた。

平成23年度は、共同研究推進委員会に「経穴刺激理学療法の効果に関する基礎および臨床的検討」のテーマで研究費申請を行い、研究費の配分を受けた。また、社団法人日本理学療法士協会から15万円の研究助成を受けた。

3. 理学療法学ユニット勉強会の活動

各メンバーの研究報告を中心に理学療法学ユニット勉強会を実施した。以下にその活動概要をまとめた。

①第7回理学療法学ユニット勉強会

日時：平成23年5月19日（木）19時～20時
場所：3号館2階 B22教室
内容：快・不快感情が上肢運動課題を用いた利き手と非利き手の運動に与える影響について
米田浩久先生

②第8回理学療法学ユニット勉強会

日時：平成23年6月18日（土）16時～18時
場所：3号館3階 B31教室
内容：1. ポロシャツのボタンはめ動作に着目した一症例における上肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化
山下 彰（大学院1年）

2. 下肢脊髄運動神経におけるH波・F波出現様式

山下 彰（大学院1年）

3. 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—イメージする収縮強度の違いによる検討—

文野住文（大学院1年）

4. 立位姿勢における上肢挙上位からの速度を伴う肘関節伸展時の姿勢制御
丸岡祥子（大学院1年）

5. アロマセラピーが神経機能に与える影響
由留木裕子（大学院1年）

③第9回理学療法学ユニット勉強会

日時：平成23年10月1日（土）12時30分～13時10分

場所：診療・研究棟3階 神経病研究センター

内容：The 6th Beijing International Forum on Rehabilitation（10月22日・中国）

予行会

Neurological research for effect of Bobath approach

— Relation to clinical application with F wave —

Akira Yamashita (M1)

④第10回理学療法学ユニット勉強会

日時：平成23年10月6日（木）19時～21時

場所：3号館2階 B21教室

内容：(社)全日本鍼灸学会近畿支部学術集会および近畿理学療法学会予行会

1. 全身性ジストニア患者に対する鍼治療前後におけるハンガー反射の変化

田中 健一（附属診療所 研修員）

2. 頸部ジストニア患者の鍼治療前後におけるハンガー反射出現様式の変化

平松 哲郎（附属診療所 研修員）

3. 八邪（大都）への鍼刺激前後における母指対立筋F波の変化

尾羽根 実央（附属診療所 研修員）

4. 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響 —イメージする収縮強度の違いによる比較—

文野 住文（本学大学院生）

⑤第11回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成23年10月13日（木）19時～19時30分
場 所：3号館2階 B21教室
内 容：（社）全日本鍼灸学会近畿支部学術集会予行
会
八邪（上都）への鍼刺激前後における母指対
立筋F波の変化
川畑 隼人（附属診療所 研修員）

⑥第12回理学療法学ユニット勉強会

日 時：平成23年10月15日（土）12時30分～13時
10分
場 所：診療・研究棟3階 神経病研究センター
内 容：The 6th Beijing International Forum on
Rehabilitation（10月22日・中国）
予行会
Neurological research for effect of Bobath
approach
－ Relation to clinical application with F
wave －
Akira Yamashita（M1）

行機能との関係，厚生労働科学研究費補助金（難治性疾
患克服研究事業）スモンに関する調査研究班 平成22
年度総括・分担研究報告書，2011，156-8

鈴木俊明：機器を用いた症例のまとめ方，大阪府理学療
法士会誌，2011，39，27-32

鈴木俊明：何をもって治ったとするか，関西理学，
2011，11，1-3

鈴木俊明，鬼形周恵子，文野住文，谷 万喜子，脳血管
障害片麻痺患者の麻痺側上肢機能について考える，関西
理学，2011，11，13-9

高崎恭輔，鈴木俊明，清水卓也：体幹前屈位時に腰部痛
が生じる器械体操選手—トップダウン評価での機能障
害抽出が困難な症例に対して—，関西理学，2011，11，
33-6

高橋優基，藤原 聡，伊藤正憲，嘉戸直樹，鈴木俊明：
聴覚刺激の刺激間隔の相違による予測の要因が筋電図反
応時間に及ぼす影響，関西理学，2011，11，41-5

B. 理学療法学ユニットの個人研究活動状況

（主に、平成23年度著書、論文等、学会報告、講演会
など）

著 書

鈴木俊明：脊柱の構造と機能，片寄正樹（編），“腰痛
のリハビリテーションとリコンディショニング—リスク
マネジメントに基づいたアプローチ”，第1版，東京，
文光堂，2011，2-13

鈴木俊明，谷万喜子，高崎恭輔ら：柔道整復師法、視能
訓練士法、言語聴覚士法（鈴木）、あん摩マッサージ指
圧師、はり師、きゅう師等に関する法律（谷），理学療
法士及び作業療法士法（高崎）／河野公一，田邊 昇，
森田 大，米田 博，鈴木俊明ら（編）：医療従事者の
ためのこれだけは知っておきたい61の法律，第1版，
京都，金芳堂，2012，73-91

原 著

吉田宗平，鈴木俊明，中吉隆之，米田浩久，紀平為子，
吉益文夫：和歌山県スモン患者におけるファンクショナ
ルリーチテストのテスト方法の違いとバランス能力、歩

津江正樹，池田幸司，赤松圭介，藤本将志，貝尻 望，
鈴木俊明ら：端座位にて一側下肢挙上位を保持した肢位
での側方への荷重量の変化が腹斜筋群の筋電図積分値に
与える影響—入浴時の浴槽へのまたぎ動作を想定して—
関西理学，2011，11，51-6

木下拓真，高木綾一，鈴木俊明：片脚立位時の矢状面上
における足圧中心位置の違いが股関節周囲筋群の筋活動に
与える影響，関西理学，2011，11，57-63

高見武志，松田俊樹，三馬孝明，中道哲朗，鈴木俊明：
結帯動作における肩甲骨周囲筋群の筋活動について，関
西理学，2011，11，65-70

山本吉則，鈴木裕介，辻本憲吾，嘉戸直樹，鈴木俊明：
一側上肢の随意運動が体側上肢の感覚機能に及ぼす影響
—体性感覚誘発電位を用いた検討—，関西理学，2011，
11，77-82

大西真代，塚本枝里，鈴木裕介，山本吉則，嘉戸直樹，
鈴木俊明：麻痺側肩甲帯と体幹に着目した理学療法によ
り麻痺側手指の分離運動に改善を認めた脳梗塞後右片麻

痺の一症例—表面筋電図を用いた理学療法効果の検討—
関西理学, 2011, 11, 131-8

鈴木俊明, 谷埜予士次, 米田浩久, 高崎恭輔, 鬼形周恵子, 谷 万喜子: 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージ方法の違いが脊髄神経機能に与える影響—視覚の有無の関連性—, 脊髄機能診断学, 2011, 33, 75-9

井上隆文, 中道哲朗, 三浦雄一郎, 鈴木俊明: 立位での一側下肢への側方体重移動が内腹斜筋と腰背筋の筋活動に及ぼす影響, 理療, 2011, 41, 24-9

Tanino Y, Yoneda H, Takasaki K, Suzuki T, Watanabe M, Kono K, et al: "Reach distance and movement strategy patterns during the functional reach test of psychiatric patients", J.Phys. Ther. Sci., 2011, 23, 655-9

Takasaki K, Tanino Y, Yoneda H, Suzuki T, Watanabe M, Kono K: Comparison of motion strategies in the functional reach test between elderly persons and young persons, J.Phys. Ther. Sci., 2011, 23, 773-6

Takasaki K, Watanabe M, Tanimoto Y, Sugiura Y, Kimura M, Tsuda Y, Hayashida I, Kono K: Usefulness of the timed up-and-go (TUG) test as an indicator for care prevention among community-dwelling elderly, Bulletin of the Osaka Medical College, 2011, 57, 93-99

学会発表

鈴木俊明, 米田浩久, 谷埜予士次, 高崎恭輔, 鬼形周恵子, 谷 万喜子ら: パーキンソン病患者の前屈姿勢の要因と運動療法効果, 第52回日本神経学会学術大会, 愛知, 2011.5

鈴木俊明, 谷埜予士次, 米田浩久, 高崎恭輔, 鬼形周恵子, 谷 万喜子: 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージ方法の違いが脊髄神経機能に与える影響—視覚の有無の検討—, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

米田浩久, 中野博子, 久住 武, 鈴木俊明: "快・不快感情が上肢運動課題を用いた利き手と非利き手の運動に

与える影響について", 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

伊藤正憲, 嘉戸直樹, 藤原 聡, 鈴木俊明: 周期的な一定のリズムの運動の遂行に外的刺激のきっかけは有効な情報となるか—周期的運動の間隔の正確性と一貫性による検討—, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

嘉戸直樹, 伊藤正憲, 鈴木俊明: 困難度の異なる上肢随意運動が対側上肢脊髄神経機能に及ぼす影響, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

高木綾一, 高崎恭輔, 鈴木俊明: 脳卒中患者における上肢挙上保持時の姿勢制御—重心動揺に着目して—, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

渡邊裕文, 大沼俊博, 藤本将志, 高崎恭輔, 谷埜予士次, 鈴木俊明: 座位での後外側方へのリーチ肢位における体幹筋群の筋電図積分値について, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

井上隆文, 中道哲朗, 鈴木俊明: 立位での一側下肢への側方体重移動における前足部荷重量の変化が内腹斜筋・腹直筋の筋電図積分値に与える影響, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

藤原 聡, 伊藤正憲, 嘉戸直樹, 鈴木俊明, 嶋田智明: 周期性の認識に基づく効率的な運動中に呈示される異なる刺激間隔が筋電図反応時間に及ぼす影響—刺激間隔の相違による検討—, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

藤川真末, 中道哲朗, 鈴木俊明: 片脚立位での一側下肢の運動が対側の支持脚における足底圧中心位置と足部内反筋群・腓骨筋群の筋活動に与える影響, 第46回日本理学療法学術大会, 宮崎, 2011.5

鈴木俊明, 谷 万喜子: 尺沢穴への経穴刺激理学療法における母指球筋の脊髄神経機能, 第60回全日本鍼灸学会学術大会, 東京, 2011.6

谷 万喜子, 鈴木俊明, 吉田宗平: 上肢ジストニア患者への鍼治療による上肢運動機能の変化, 第60回全日本鍼灸学会学術大会, 東京, 2011.6

大沼俊博, 渡邊裕文, 藤本将志, 谷埜予士次, 高崎恭輔, 鈴木俊明ら: 立位における腹斜筋群の筋活動について, 第46回京都病院学会京都, 2011.6

山下 彰, 土井鋭二郎, 鈴木俊明: ボバースアプローチ効果に関する神経生理学的研究—F波を用いた臨床応用について—, 第1回日本ボバース研究会学術大会, 東京, 2011.7

藤本将志, 大沼俊博, 渡邊裕文, 赤松圭介, 井上隆文, 鈴木俊明: 段昇段動作における内腹斜筋の筋活動パターン分析, 第1回日本ボバース研究会学術大会, 東京, 2011.7

光田尚代, 高木綾一, 鈴木俊明: “大殿筋と大腿四頭筋を同時収縮させたQuadriceps Setting Exerciseの分析—股関節の運動方向の違いに着目して—”, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

今井庸介, 高木綾一, 鈴木俊明: 介護老人保健施設における在宅復帰支援プロジェクトの報告, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

吉川香里, 高木綾一, 鈴木俊明: 膝外側スラストにより立脚期に不安定性を呈した大腿骨転子部骨折の一症例, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

川上秀一郎, 田口綾香, 井上隆文, 鈴木俊明: 左脛腓骨遠位端骨折後、歩行時に左膝の疼痛を生じた一症例, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

瀬田隼也, 河原 香, 神澤英雄, 中道哲朗, 鈴木俊明: 麻痺側体幹・下肢の支持性向上により食事動作が改善した左片麻痺患者の一症例, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

田津原佑介, 高木綾一, 鈴木俊明: 右足底感覚が改善したことにより、右立脚初期から中期における右側への不安定性が改善した左橋出血の一症例, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

山下 彰, 鈴木俊明, 土井鋭二郎: ポロシャツのボタンはめ動作の改善を認めた左視床出血一症例における上肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

川島康裕, 高木綾一, 鈴木俊明: 体幹アライメントの改善により右遊脚初期の躓きが改善した脳血管障害の一症例, 第23回大阪府理学療法学術大会, 大阪, 2011.7

大沼俊博, 渡邊裕文, 藤本将志, 谷埜予士次, 高崎恭輔, 鈴木俊明: 立位での前足部荷重時における腹斜筋群・腰背筋群の筋活動について, 第61回日本病院学会, 東京, 2011.7

池田幸司, 赤松圭介, 早田 荘, 藤本将志, 大沼俊博, 鈴木俊明: 端座位における骨盤後傾に伴う体幹屈曲肢位により前開きシャツの脱衣が困難であったパーキンソン病患者に対する理学療法, 第61回日本病院学会, 東京, 2011.7

萩尾亜弥, 赤松圭介, 大沼俊博, 渡邊裕文, 藤本将志, 鈴木俊明: 端座位における体幹の立ち直りを伴った骨盤挙上能力の低下により排泄後の清拭動作が困難であった頸髄不全損傷患者に対する作業療法, 第61回日本病院学会, 東京, 2011.7

早田 荘, 田尻恵乃, 小椋智美, 三浦雄一郎, 渡邊裕文, 鈴木俊明: 肘関節肢位の違いが肩関節外旋運動に及ぼす影響, 第8回肩の運動機能研究会, 福岡, 2011.10

鈴木俊明, 文野住文, 谷 万喜子, 鬼形周恵子, 米田浩久, 谷埜予士次ら: パーキンソン病における運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—F波を用いた研究—, 第5回パーキンソン病・運動障害疾患コンGRESS, 東京, 2011.10

鈴木俊明: 視覚の有無による等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能に与える影響, 第48回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京, 2011.11

鈴木俊明: パーキンソン病への運動イメージは脊髄神経機能の興奮性を増加させるか?, 第51回近畿理学療法学術大会, 滋賀, 2011.11

大沼俊博, 渡邊裕文, 藤本将志, 谷埜予士次, 高崎恭輔, 鈴木俊明ら: 立位での踵部荷重時における腹斜筋群の筋活動について, 第51回近畿理学療法学術大会, 滋賀, 2011.11

津江正樹, 赤松圭介, 藤本将志, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明: 端座位一側下肢挙上位での側方への荷重量の変化が両側大殿筋上部線維・腰背筋群の筋電図積分値に与える影響, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

池田幸司, 津江正樹, 早田 莊, 藤本将志, 赤松圭介, 鈴木俊明ら: 端座位での側方体重移動時における移動側中殿筋・大腿筋膜張筋・大殿筋上部線維の筋電図積分値について, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

田口綾香, 河原 香, 井上隆文, 中道哲朗, 鈴木俊明: 立位での一側下肢への側方体重移動時における移動側中殿筋の筋活動について—COP移動側変位初期に着目して—, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

木下拓真, 高木綾一, 鈴木俊明: 片脚立位時の矢状面における足圧中心位置の違いが股関節周囲筋の筋活動に与える影響, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

高見武志, 松田俊樹, 三馬孝明, 中道哲朗, 鈴木俊明: 結帯動作における肩甲骨周囲筋群の筋活動について (第2報), 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

旅なつき, 高木綾一, 鈴木俊明: “端座位での下衣脱衣動作における下肢筋群の筋活動と関節運動について—治療用ベッド上と便座上での比較—”, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

玉置昌孝, 井上隆文, 中道哲朗, 鈴木俊明: 両脚立位から片脚立位への動作における内腹斜筋と腰背筋群の筋活動パターンの検討, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

赤松圭介, 貝尻望, 田尻恵乃, 藤本将志, 大沼俊博, 鈴木俊明ら: 長座位での靴下着脱動作を想定した模擬課題時における骨盤後傾角度及び殿部荷重量に関する検討, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

北山涼太, 岩淵順也, 國枝秀樹, 吉田拓真, 谷埜予次, 鈴木俊明: 膝伸展ramp収縮課題時における内側広筋の筋活動, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

貝尻 望, 赤松圭介, 藤本将志, 大沼俊博, 渡邊裕文, 鈴木俊明: 端座位一側下肢挙上位での体幹屈曲角度の変化が体幹筋群の筋電図積分値に及ぼす影響—下肢挙上側に対する反対側体幹筋群における検討—, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

山下 彰, 鈴木俊明, 土井鋭二郎: 立位での靴下着脱動作の質的改善を認めた脳血管障害右片麻痺一症例における機能変化に伴う下肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

文野住文, 鈴木俊明: 等尺性収縮を用いた母指対立運動の運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響—イメージする収縮強度の違いによる比較—, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

山下 梓, 高森絵斗, 前田梨奈, 上野亜利沙, 小川那留美, 鈴木俊明ら: 尺沢穴への経穴刺激理学療法における母指球筋F波変化, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

藤原 聡, 伊藤正憲, 嘉戸直樹, 鈴木俊明: 周期性の認識に基づく効率的な運動中に定期的に呈示される異なる刺激間隔が筋電図反応時間に及ぼす影響—刺激回数増加による検討—, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

福島秀晃, 三浦雄一郎, 森原 徹, 鈴木俊明: 肩関節屈曲・外転運動における前鋸筋中部線維の機能に関する一考察, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

三浦雄一郎, 福島秀晃, 大川真美, 森原 徹, 鈴木俊明: 上肢挙上位での肩甲骨挙上が肩関節周囲筋の筋活動に与える影響, 第51回近畿理学療法学会, 滋賀, 2011.11

有村恵梨香, 高木綾一, 鈴木俊明: 左腹斜筋群・前鋸筋の筋緊張改善により更衣動作が改善した脳血管障害の一症例, 第27回大阪府作業療法士協会, 大阪, 2011.11

鈴木俊明, 鬼形周恵子, 文野住文, 谷 万喜子: 八邪への経穴刺激理学療法前後における脊髄神経機能の変化, 平成23年度(社)全日本鍼灸学会第31回近畿支部学術集会, 大阪, 2011.11

尾羽根実央, 谷 万喜子, 鈴木俊明: 八邪(大都)への鍼刺激前後における母指対立筋F波の変化, 平成23年度(社)全日本鍼灸学会第31回近畿支部学術集会, 大阪, 2011.11

川畑隼人, 谷 万喜子, 鈴木俊明: 八邪(上都)への鍼刺激前後における母指対立筋F波の変化, 平成23年度(社)全日本鍼灸学会第31回近畿支部学術集会, 大阪, 2011.11

田中健一, 谷 万喜子, 鈴木俊明, 吉田宗平: 全身性ジストニア患者に対する鍼治療前後におけるハンガー反射の変化, 平成23年度(社)全日本鍼灸学会第31回近畿支部学術集会, 大阪, 2011.11

谷 万喜子, 鈴木俊明, 吉田宗平: 上肢ジストニア患者の上肢機能と鍼治療効果, 平成23年度(社)全日本鍼灸学会第31回近畿支部学術集会, 大阪, 2011.11

平松哲郎, 谷 万喜子, 鈴木俊明, 吉田宗平: 頸部ジストニア患者の鍼治療前後におけるハンガー反射出現様式の変化, 平成23年度(社)全日本鍼灸学会第31回近畿支部学術集会, 大阪, 2011.11

山下 彰, 土井鋭二郎, 鈴木俊明: 歩行動作と立位での靴下着脱動作の質的改善を認めた脳血管障害右片麻痺症例における機能変化と下肢脊髄運動神経機能の興奮性の変化, 第33回臨床歩行分析研究会定例会, 福岡, 2011.12

吉田宗平, 鈴木俊明, 中吉隆之: 和歌山県のスモン患者に対する運動療法の即時効果, 平成23年度 スモンに関する調査研究班 研究報告会, 東京, 2012.2

森 康行, 高木綾一, 鈴木俊明: 右内包出血により食塊移送が困難となった一症例—口腔内の知覚及び座位姿勢に着目にて—, 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第19回 研究大会, 京都, 2012.2

鈴木俊明, 文野住文, 鬼形周恵子, 谷 万喜子, 谷埜予士次, 米田浩久ら: 短時間のリラクスイメージは脊髄神経機能の興奮性を変化させるか, 第34回脊髄神経機能診断研究会, 東京, 2012.2

鈴木俊明: Excitability of spinal neural function under relaxation imagery for 1 minute, 第3回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 神奈川, 2012.2

Yamashita A, Doi E, Suzuki T: “Neurological research for effect of bobath approach—relation to clinical application with f wave—”, “The 6th Beijing International Forum on Rehabilitation Beijing”, China, 2011.10

その他

鈴木俊明: パーキンソン病患者のリハビリ勉強会, ひと・まち交流館, 京都, 2011.4

鈴木俊明: 和歌山県御坊保健所 パーキンソン病の治療と姿勢保持について(講演), 御坊保健所, 和歌山, 2011.8

鈴木俊明: F波を用いた運動イメージの効果検討(講演) 第6回日本生体応用計測研究会, 郡山健康科学専門学校, 福島, 2011.11

鈴木俊明: 京都府中丹東保健所 生活の中でできるリハビリとは(講演), 京都府中丹東保健所, 京都, 2011.11